

五郎沼通信



この通信は、五郎沼の桜や周辺環境を守りながら、五郎沼の活用方法や今後のあり方を地域の皆さんと考えるために発行します。
(発行部数:200部)

発行者：「五郎沼の桜を守る会」
事務局 瀬川峰雄
紫波町南日詰字小路口70-1
電話：019-672-2656 (FAX兼用)
携帯：090-2270-6771
E-mail：shiwajokaso@crest.ocn.ne.jp

五郎沼の

環境整備行いました。

5月31日に一回目、7月19日に二回目の五郎沼堤体の草刈り(3回目は8月末に予定)を史跡五郎沼愛護会(地元)と南日詰小路口地区のみなさんと合同で行いました。今年は例年以上に暑くなるのが早いためか、みなさん汗をかきながらも地元史跡財産の環境のために、きれいにさせていただきました。

そして、同時に今冬に行った桜の天狗単病などの枝切りした後の枝を今回、安全のために消防署連絡にて地元消防団の待機の上で焼却処分を行いました。このような環境整備で五郎沼の周辺(約1km)散歩はしやすくなりましたので、是非いらしてください。

また、一回目の草刈時には会員さんと共に比較的に弱っている堤体西側の桜へ、グリーンパイルにての施肥を今回初めて行って見ました。その後の肥料の効果の広がり方は写真とおりですが、まだ2ヶ月目くらいなので、効果のほどを楽しみに見ていきたいと思えます。



堤体の草刈りの様子



施肥の様子



桜枝の焼却(消防団待機にて)



肥料の広がり

「五郎沼古代蓮まつり」が

開催されました。



五郎沼の古代蓮は今年も無事に開花してくれましたが、今年度は例年より一週間程度早い6月26日の開花でした。やはり温暖化が進んでいるのでしょうか？

さて、今年も「五郎沼古代蓮まつり」が7月26日に開催されました。今年は昨年と違い天気がとても良すぎた感があり、大変暑い中での開催でした。

紫波町出身者で宇都宮在住の鷹觜利夫氏の「樋爪助衡(すけひら)が住んだという都賀郡(つがぐん)中泉庄(なかいずみしよう)とは？」の講演では、栃木県には弟五郎季衡だけではなく兄太郎俊衡の子孫もいるかも？と大変興味深いお話をいただきました。

蓮池近くの駐車場で第一回は、8名の小学校生の踊りがりりしかった、地元芸能の南日詰太神楽の披露がありました。また、第二部では、中尊寺参与の佐々木秀圓氏の法話「私の修行について」では、本山での厳しい修行に耐えてきたことで、現在がある。現在は過去の行いの結果であり、常に日々の行動が大事だと話されました。



南日詰太神楽



佐々木秀圓氏



赤石幼稚園、小学校の絵画コーナー



鷹觜利夫氏

アメリカシロヒトリ発生!

数年ぶりでアメリカシロヒトリが五郎沼でも発生しました。しかし早めの防除でなんとか被害の拡大を防ぎました。



アメリカシロヒトリ とは?.....

北アメリカを原産地とする

日本では第二次世界大戦後、アメリカ軍の軍需物資に付いて渡来したとされる。1945年に東京で発見されたのを最初に山手線沿線、中央線沿線に広がり、その後関東地方を中心に分布を広げた。

年2-3回の発生で卵で越冬する。卵は数百個単位で、3齢虫までは白い巣網の中で成長する。成虫は5月中旬から6月、7月下旬から9月頃に羽化する。食草は広く、サクラ、ヤナギ、カキ、コナラ、リンゴなどおよそ100種類以上の樹木に害を及ぼす。成虫は長さ約1cm、翅を広げた大きさは約30mmで全体的に灰白色、体は赤味を帯びている。前翅には多数の小黒点があるが、2度目以降の発生種では黒点が消えかかる。

仮に、刺されても人体には影響はなく、アレルギー反応を示す人に影響がある程度だが、食害によりサクラなどが衰退すること、何よりも糞で樹木の周囲が汚くなることから駆除が行われる。用いられる殺虫剤は、スミチオンやオルトラン水和剤などが一般的。1970年代から80年代にかけ大発生し、養蚕農家などに大きな被害があったが、その後は同様の大発生は減っている。原因は不明だが鳥類や、寄生性のハチなど、天敵の捕食の対象になったため、大規模な発生が減った可能性がある。(ウェキペディアより)

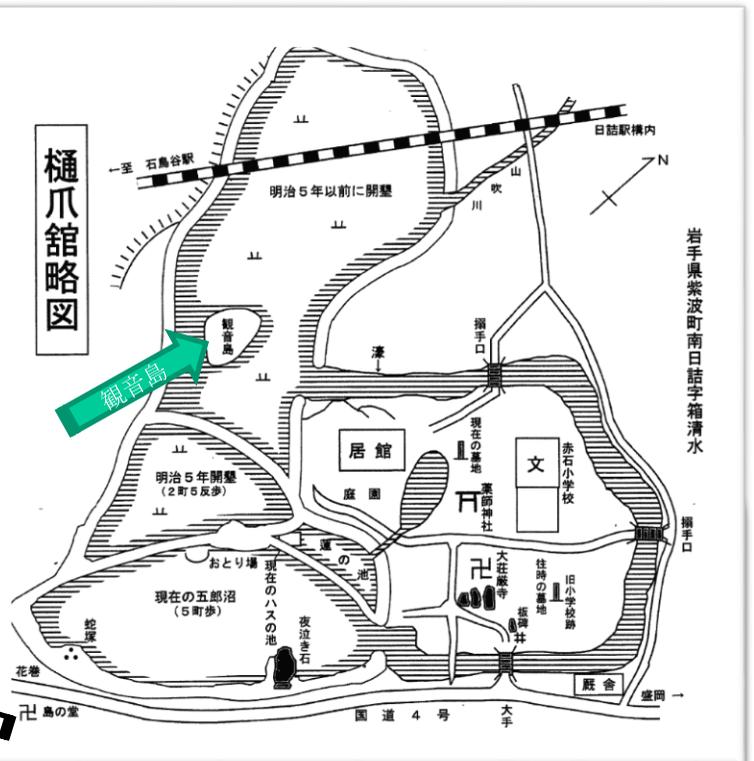


島の堂千手観音

かつては五郎沼に観音島という中島があり、そこに、当国三十三カ所観音六番札の「島の堂千手観音」があったといわれます。

藩政時代になるとすでに、「中島ではなくなり観音は五郎沼より15間西の谷地にあり」と文書に記されています。参拝する巡礼者が難儀をしていたことから、享保元(1716)年、お堂を現在地に移築したそうです。国道4号を挟んだ五郎沼南端の向かい側で、今も大切に守られています。

(「紫波の歴史は面白い」より)



島の堂観音

募集!

もう一つの平泉
「比内(ひづめ)」

羽柴先生と
ツアー
を追って



反響が広がる岩手県博テーマ展。主宰の羽柴直人先生が案内する青森・秋田方面ツアー。初日の七戸は、国指定史跡七戸城と東北最大級の縄文遺跡群を。二日目は判りにくかった矢立廃寺跡にバスで入ります。奇しくも9月3日は泰衡が討たれた日、旅の終りに合掌...

9/2(火) 赤石公民館9:00発 ~ 七戸町 ... 東八甲田温泉 泊

9/3(水) 東八甲田温泉 青森~秋田~盛岡IC一紫波IC一赤石公民館18時着

参加費: 19,000円(1泊2食・昼食1・入場料等。30名参加の按分=参加者増減により変わる)

申込み: 電話019-676-4477 FAX019-676-4422 紫波町観光交流協会

締切り: 8月22日(金)

集 合: 赤石公民館・盛岡IC 二ヶ所(申込の際に集合場所記入の事)

主 催: 一般社団法人紫波町観光交流協会

共 催: 赤石地区ひづめ館懇話会・シャペー・紫波郷土史同好会・紫波町平泉関連史跡連携協議会

